

## シラバス詳細

IPE科目														
授業科目名														
カリキュラム2019														
ヒューマンケア体験実習														
Human Care : Practicum														
No.	時間割番号			開講時期				曜日・時限						
1	100300201			前期				集中						
2	200300201			前期				集中						
ナンバリング														
B_IPE1300														
配当年次 および 必須 (○)・選択 (○) の別														
No.	看護		理学	作業			社福		福子	行動		検査	口腔	教職
	専攻	編入					専攻	編入		専攻	編入			
1	1○	3○	1○	1○			1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○	
2	1○	3○	1○	1○			1○	3○	1○	1○		1○	1○	
履修における注意点・履修条件等														
なし														
科目責任者	田口 孝行			単位数・時間数	1単位 45時間				授業形態	実習				
科目担当者	國澤尚子、新村洋未、東宏行、水間夏子、田上豊、鈴木康美、吉村基宜、青森広美、森正樹、田中健一、滑川道人、粟田卓也、高柳雅朗、高村夏輝、田口孝行、須永康代、木戸聡史、菊本東陽、国分貴徳、村田健児、荒木和美、久保田富夫、笹尾久美子、鈴木貴子、小池祐士、上原栄一郎、柴田貴美子、若林子ヒロ、市村彰英、林恵津子、森田満理子、牧野由理、越智幸一、高島恭子、岡桃子、内山真理、廣渡祐史、柳澤伸彰、岸井こずゑ、矢野哲也、江良裕子、高橋宏至、原木万紀子、岡田茂治、武田美津代、高橋綾、松下誠、安藤克己、村井美代、吉田隆、新井恵													
科目に関連する実務経験														
授業の概要														
<p>「ヒューマンケア論」で学んだことを、保健・医療・福祉の実践現場にて実際に体験し、援助を必要とする人々・保健医療福祉に携わる人々・グループメンバーなどと直接的に関わることによって、</p> <p>①自己の人との関わり方を客観視する姿勢、</p> <p>②グループメンバーと協力し合う姿勢、</p> <p>③援助を必要とする人々のニーズや保健医療福祉に携わる人々の役割へ関心を向ける姿勢、</p> <p>④多様な人間観・価値観を理解しようとする姿勢を養う。</p> <p>それらを通じて、援助職者間の「連携と統合」における実践上の基盤をつくる。</p>														
学習のねらい														
保健医療福祉に携わる者として、健康や生活上の課題を持つ人々へ働きかけを行うにあたって専門的な知識と技術、そして豊かな人間性と高い倫理性を身につけることが求められる。対象となる人々の健康状態や生活のありようや思いを理解し、その人の立場で考える態度を涵養することは、5つの学科に共通する基本的な事柄である。5つの領域に共通する基本的な働きかけを「ヒューマンケア」と捉え、ヒューマンケアに基づく連携を目指す。														
関連するディプロマポリシー														
対象者の理解・倫理観	客観的・批判的思考	多面的・専門的	連携・統合	国際的・地域										
○			○											
授業の到達目標及び授業概要														
回	授業の到達目標			授業概要				担当教員		講演者				
事前	・事前課題の実施			I. 学生への事前課題提示 ※メールおよびWebClassで提示します。				田口		<input type="checkbox"/>				
1日目	<p>&lt;目標&gt;</p> <p>(1)学生として保健・医療・福祉の実践現場で学ぶときの態度・マナーを身に付ける。</p> <p>(2)コミュニケーションの大切さに気づき、具体的な場面における適切なコミュニケーションのとり方を自分なりに模索する。</p> <p>(3)援助を必要とする人々の社会的背景や生活状況、ニーズ、人生観、価値観等の多様性を理解する。</p> <p>(4)保健医療福祉に携わる人々の仕事内容（援助を必要とする人々に向かう姿勢）、援助を必要とする人々のニーズを知り、それぞれの援助職者がどう関わり合っているのか、また、どう関わり合うべきか、援助職者の連携や協働した援助活動のあり方を学ぶ。</p> <p>(5)体験を通して自分自身を振り返り、援助職に携わる者としての姿勢を考える。</p>			<p>II. 学生全体オリエンテーション(1)</p> <p>日時：7月30日(金) Ⅲ (13:00~14:30)</p> <p>会場：全体Zoomルーム (12:45入室開始)</p> <p>内容：(1)総括科目責任者挨拶 (2)本科目の全体説明 (3)トピック講座 (4)IV限の学習方法の説明</p>				田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、		<input type="checkbox"/>				

	(6)グループ活動についてリフレクションができる。 (7)地域社会における各保健・医療・福祉の実践現場の位置づけ、機能、役割を理解する。		松下、安藤、村井、吉田、新井
1日目	・チームメンバーを理解する(知る・関心をもつ)ために、コミュニケーションの大切さに気付き、コミュニケーションの図り方を自分なりに模索する。 ・自己紹介に関するディスカッションを通して、チームメンバーの社会的背景、人生観、価値観などの多様性に触れる・理解する。	Ⅲ. チーム内自己紹介 日時: 7月30日(金) IV (14:40~16:10) 会場: 担当教員Zoomルーム 内容: チーム内で自己紹介とディスカッション	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井
2日目	・提示された課題を期日までに仕上げ、報告する。 ※これまでに「ヒューマンケア論」で学んだことを基にして、各学生がこれまでの生活を振り返って(思い出して)みて、「ヒューマンケアを感じた体験談」をチーム内で説明する(チーム内の全員が行う)。その一つ一つの体験談を基にして、チーム内でグループ学習(ディスカッション)を行う。	Ⅳ. 多様なヒューマンケア体験 日時: 9月27日(月) 9:00~16:10 1. 全体オリエンテーション(2) 時間: 9:00~10:30 会場: 全体Zoomルーム (8:45入室開始) 内容: (1)トピック講座 (2)学習方法説明 2. グループ学習学習 時間: 10:40~13:50 会場: 担当教員Zoomルーム 内容: ヒューマンケア体験談の発表とディスカッション 3. 報告会 時間: 14:00~16:10 会場: 報告会Zoomルーム	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井
3日目	・コミュニケーションの大切さに気づき、具体的な場面における適切なコミュニケーションのとり方を自分なりに模索する。 ・援助を必要とする人々の社会的背景や生活状況、ニーズ、人生観、価値観等の多様性を理解する。	Ⅴ. 当事者の生活を観て感じ取るヒューマンケア 日時: 9月28日(火) 9:00~16:10 1. 全体オリエンテーション(3) 時間: 9:00~10:30 会場: 全体Zoomルーム (8:45入室開始) 内容: より良いグループ学習にするためのガイド ※DVD視聴 2. グループ学習学習 時間: 10:40~13:50 会場: 担当教員Zoomルーム 内容: 当事者の生き方、暮らし方、気持ち等についてのディスカッション 3. 報告会 時間: 14:00~16:10 会場: 報告会Zoomルーム	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井
4日目	・援助を必要とする人々の社会的背景や生活状況、ニーズ、人生観、価値観等の多様性を理解する。 ・保健医療福祉に携わる人々の仕事内容(援助を必要とする人々に向かう姿勢)、援助を必要とする人々のニーズを知り、それぞれの援助職者がどう関わり合っているのか、また、どう関わり合うべきか、援助職者の連携や協働した援助活動のあり方を学ぶ。	Ⅵ. 現場専門職の援助(支援)の話から感じ取るヒューマンケア 日時: 9月29日(水) 9:00~16:10 1. 全体オリエンテーション(4) 時間: 9:00~10:30 会場: 全体Zoomルーム (8:45入室開始) 内容: 現場専門職の援助について聴講 2. グループ学習学習 時間: 10:40~13:50 会場: 担当教員Zoomルーム 内容: 現場専門職の援助姿勢・思い等についてディスカッション 3. 報告会 時間: 14:00~16:10 会場: 報告会Zoomルーム	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井

5日目	・実習内容の共有、およびリフレクションが実施できる	VII.リフレクション 日時：9月30日（木）9:00～16:10 1. 全体オリエンテーション(5) 時間：9:00～10:30 会場：全体Zoomルーム（8:45入室開始） 内容：(1)トピック講座 (2)学習方法説明 2. グループ学習学習 時間：10:40～13:50 会場：担当教員Zoomルーム 内容：これまでのグループ学習におけるリフレクション(振り返り) 3. 報告会 時間：14:00～16:10 会場：報告会Zoomルーム	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井	
6日目	※対面が可能であれば実施	VIII.対面学習 日時：10月1日（金）9:00～12:10 1. 全体オリエンテーション(6) 時間：9:00～10:30 会場：講堂（予定） 内容：(1)総括科目責任者挨拶 (2)トピック講座 2. チーム内であらためて自己紹介（対面） 時間：10:40～12:10 会場：指定の演習室・講義室等 内容：(1)自己紹介 (2)印象に残った授業テーマ、遠隔グループ学習方法について	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井	<input type="checkbox"/>
事後	・学びの表出	IX. レポート提出 〆切：10月8日（金）18:00	田口、國澤、新村、東、水間、田上、鈴木、吉村、青森、森、田中、滑川、粟田、高柳、高村、須永、木戸、菊本、国分、村田、荒木、久保田、笹尾、鈴木、小池、上原、柴田、若林、市村、林、森田、牧野、越智、高島、岡、内山、廣渡、柳澤、岸井、矢野、江良、高橋、原木、岡田、武田、高橋、松下、安藤、村井、吉田、新井	<input type="checkbox"/>

## 授業計画に関する特記事項

実習までの間にメール連絡、必要書類のWeb Classへの掲載があるので、学生同士で連絡を取り合っ、見落とし、見忘れが無いようにすること。「実習施設への学生配置表」および「実習施設詳細」は、各個人のタブレット端末で閲覧すること。（全体に印刷して配付はしない）（7月中旬までに決定）

## 教科書

- 1) 「ヒューマンケア体験実習 履修の手引き」（7/31までに配付、またはWeb Classに掲載）
- 2) IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携－（中央法規）

## 参考書、教材等

## 評価方法

実習状況（含出席状況）と実習報告会での発表、課題レポートから科目の目標に到達しているかどうかを総合的に評価する。オリエンテーションも含め、遅刻・欠席については厳しく評価する。

## 授業外における学習方法

ヒューマンケア論の授業内容を各自で振り返ってみてください。  
実習施設は、高齢者・知的障害・精神障害者施設など多岐にわたります。各自の専門領域が直接的に関係する施設で実習できるとは限りませんし、この実習はそのように配慮する必要はない実習です。ですので、自分が実習する施設、および利用者について理解するよう、実習までに自主的に学習してください。

## 学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

保健医療福祉のサービスを必要とする人々の健康や生活の営みに直にふれ、ヒューマンケアの意味を自己に問いかけてください。社会的なマナーを身に付けておいてください。また、実習施設についての事前学習は、各自で自主的に行っておいてください。到達目標に到達するためにどのような行動をしたらよいの

か自分で考えてください。

細菌検査費用、実習施設までの交通費、施設での食事代等は自己負担となります（実習移設によって異なる）。

\* 必要書類が期限までに提出できない場合、本実習に参加できなくなることがありますので、提出期限を必ず守ってください。

授業における講演者（ゲストスピーカー）の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日: 2021/03/19 11:24

印刷

閉じる